

クマエビが獲れました

平成 24 年 9 月 18 日、三枚州の貝桁網調査で 2 尾獲れました。当協会の調査では初めての採捕で、大きさは体長 86.1mm(体重 9g)と 70.9mm(6g)です。

クマエビ(*Penaeus semisulcatus*)は体に不明瞭な横縞模様があり、触角には白赤の縞模様や歩脚や腹脚が赤いのが特徴で、太平洋沿岸の温暖な海域に広く分布し、体長は 22cm になる大型のエビで食用になります。

このような動物の名前のエビは、今までにウシエビ(平成 6 年 9 月 14 日、中央防波堤近の刺網)とサルエビ(平成 20 年 1 月 23 日、羽田空港砂留堤 4~5 の間の貝桁網調査)が獲れています。

このうち採捕されたウシエビは 150g と大型で、ブラックタイガーとして食べられているエビです。

なお、クマエビの漢字には「熊」や「隈」が当てられています、語源は良く解りません。



クマエビ(*Penaeus semisulcatus*) 体長 86.1mm の個体

